

『詳説日本史』（日探 705）教師用指導書授業実践編 正誤表

| 頁 | 箇所 | 誤 | 正 | 備考 |
|-----|--|---|--|----|
| 106 | 解答例② 2 行目 | 下司の任免権が <u>莊園領</u> に属する | 下司の任免権が <u>莊園領主</u> に属する | |
| 108 | 解説「比企氏の乱の背景」 5 行目 | 源 <u>頼家</u> の乳母比企尼 | 源 <u>頼朝</u> の乳母比企尼 | |
| 111 | 図版「開発領主の館」 11～12 行目 | 中央は <u>主屋</u> (母屋)で、 <u>武家造</u> である。 | 中央は <u>公家の寝殿造</u> を小規模に模したような <u>主屋</u> (母屋)である。 | |
| 146 | 板書例 5 行目 | →天文法華の乱 (1532 年) | →天文法華の乱 (1536 年) | |
| 147 | 板書例 13 行目 | 豊後大友氏 (球種北部) | 豊後大友氏 (九州北部) | |
| 147 | 図版「戦国大名の勢力範囲とおもな分国法・家訓」の「関東」 12～14 行目 | 3 代 <u>氏直</u> が古河公方・関東管領上杉氏を撃破し、以降、関東は北条 <u>氏直</u> ・武田信玄・上杉謙信が | 3 代 <u>氏康</u> が古河公方・関東管領上杉氏を撃破し、以降、関東は北条 <u>氏康</u> ・武田信玄・上杉謙信が | |
| 179 | 解答例⑬ | 寛永期の文化は……経済力をもつ <u>上方豪商</u> や朝廷由来の知識人が加わった。元禄文化は <u>参勤交代</u> により財政難におちいった大名が担い手から抜け、 <u>上方の豪商</u> や本阿弥光悦・ <u>俵屋宗達</u> など <u>上級町衆</u> を中心に展開することとなる。 | 寛永期の文化は……経済力をもつ <u>上方の豪商</u> や本阿弥光悦・ <u>俵屋宗達</u> など <u>上級町衆</u> 、朝廷由来の知識人が加わった。元禄文化は <u>参勤交代</u> や <u>明暦の大火</u> により財政難におちいった大名が担い手から抜け、 <u>上方豪商</u> を中心に展開することとなる。 | |
| 308 | 解説「都市・東京の変容」 6～7 行目 | 日本初の路面電車は 1890 (明治 23) 年の京都だったが | 日本初の路面電車は 1895 (明治 28) 年の京都だったが | |

※教科書の訂正につきましては、弊社のインターネットホームページ

(<https://www.yamakawa.co.jp/textbook>) の「教科書の訂正内容のお知らせ」よりご確認ください。